

【再配布可】 投資初心者が 知っておきたいFXの基本 Vol.1

はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。


著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

 FXの基本.....	4
(1)FXと外貨預金.....	4
(2)差金決済とは.....	5
(3)差金決済での損失.....	7
(4)FXのメリット.....	8
(5)FXのメリットその2.....	10
(6)FXにおけるリスク.....	11
(7)FXにおけるリスクその2.....	12
(8)スワップポイントとは.....	13
(9)スワップポイントの注意.....	14

FXの基本

(1)FXと外貨預金

株、投資信託、不動産…いろいろな投資がある中、今、注目を集め取引量が増えているのがFX(外国為替証拠金取引)です。

FXというのは、1998年に外為法が改正された事で生まれた取引です。それまで銀行にのみ許されていた外国為替の取引が、広く一般にも開放されたのです。

「為替」「外貨」と聞くと、すぐに「外貨預金」のことが頭に浮かぶという方もおられるかも知れませんが外貨預金とFX(外国為替証拠金取引)は、似ているようでここまで違うのです。

外貨預金の場合はたとえば100万円を×▽銀行の口座に預けますと、100万円分のドルを買う事が出来ます。

つまり、日本にいながらドルの口座を持ち、値動きの変動を待つのですね。そうして、1ドル110円だったものが、無事、1ドル111円になりましたら、そこでドルを売ります。

こうして差額の1ドル分(1%程度)の利益が生まれるという仕組みです。

一方でFXの場合はまずB証券に5万円を預けます。すると、その5万円は担保として別に保管され、あなたには〇〇証券から「100万円の取引を行う権利」が与えられるのです。

そうして、100万円の範囲内で、円とドルの売買を行う事が出来ます。つまり、外貨預金の貯蓄性は無いのですが投資法として非常に気軽に始められるシステムなのです。

(2) 差金決済とは

FXの差金決済での取引とはどんな取引なのでしょうか？

外貨預金の場合は1万ドルを買おうとすると、1ドル110円の場合なら、110万円が必要になります。

しかし、FXであれば、証拠金を5万円程度預けておきますと、1万ドル(110万円)の取引が可能になります。

これは、FXが「売りと買いの差額(差金)しか決済しない」という特徴を持っているからです。

例をあげましょう、5万円を預け、100万円分の信用取引口座を用意してもらい、その金額で5000ドルを勝ったとしましょう。(1ドル110円とすると、55万円分使った事になります)

こうしてドルを買う事を「ドル円で、5000ドルの買いポジション

を持つ」と言います。（「ドル円で」というのは、通貨の組み合わせです。

ドルとユーロの組み合わせなどもあります。また、買いポジションというのは、「買っている状態」という意味です。現金で1万ドルを持っている訳ではないので、「買っている状態」と言います）

この5000ドルの買いポジションを持った後、1ドルが112円になったとします。すると、 $5000\text{ドル} \times 112\text{円} = 56\text{万円}$ です。

持っている資産（買いポジション）が、ドル円の変動によって、1万円の利益を生みました。ここで満足してドルを売ること、買いポジションを解除し、「 $56\text{万円} - 55\text{万円} = 1\text{万円}$ 」という、差額1万円が振り込まれるのです。

(3) 差金決済での損失

投資ですから、いつも上手く行くとは限りません。

せっかく1ドル110円の時に買っても、その直後にドルが108円になったとします。

この時の買いポジションは「108円×5000ドル」分ですから、54万円です。差額、1万円の損が出ています。

あなたは5万円を預けています。この状態で1万円の損が出ていても、まだ5万円の預け金があるから投資は続けられる、これがFXの特徴とも言えるでしょう。

FXを扱っている各会社では、それぞれ「最低でも維持しておかなければならない金額」という基準があります。

例えばこの会社が、「最低3万円は預けてください」という基準を持っていた場合、あなたは今まだ「5万円－1万円の損」で総資産4万円です。（最低額に達してないので取引はまだ可能）

ここで1ドルが一気に106円になった場合。あなたの資産は「106円×5000ドル」で53万円となります。

2万円の損により、あなたの資産が3万円ぴったりとなりました。

あと1銭でも下がったら、そこで基準を割り込んでしまいますので、その金額で強制的に取引が決済されて損失が確定するという仕組みです。

この場合は、ドルの買いから入っていますが、逆のパターンも可能です。ドルを先に売っておき、あとで買い戻すという「売り買いを逆にする」という事も、考え方は全く同じですね。

FXでは差金決済という方法をとる事で、元手に対して大きな金額で取引を出来るだけでなく、ドルの売りから取引を始めたり、ユーロなどの違う通貨でも取引が可能になるのです。

(4)FXのメリット

FXをするメリットはいくつもありますが、何より小さな金額で始められることが最大のメリットでしょう。

これは、預け入れたお金を「証拠金」として扱い、それを担保として、証券会社から大きな金額の取引を行う権利を得るというFXの仕組みから来るメリットです。

実際の取引は、売買の損得のみを決済します(差金決済)から、失敗した分の損が、預け入れたお金の範囲内であれば、元手が少なくとも大きな取引が出来るのです。

例えば5万円を預けて、100万円の取引を行える状態になる事を、「レバレッジが20倍」と言います。要は「預けた金額の何倍まで取引可能か」と

いう数字。これは各社さんによってまちまちですが、大体は101日あたりの値動きが2円以上もあるような日は稀です。

手数料だけで損をしてしまう可能性が高いのが外貨預金です。この点で、FX ならば一般的には1ドルあたり5銭前後の手数料ですから、手数料で損をする可能性が低くなります。

倍から30倍程度でしょう。また、手数料の安さも大きな要素と言えるでしょう。外貨預金の場合、「仲値」と言われる、その日の朝10時のレートで取引が行われます。

その時、ドルを買うなら仲値にプラス1円の金額となり、ドルを売るなら、仲値からマイナス1円の金額で決済されてしまいます。

往復すると2円分の手数料が取られます。とくに取引が一日に何回も繰り返す場合にはこの差は大きくなるでしょう。

(5)FX のメリットその2

FX を副業としてとらえている人には大きなメリットになると思うのがやはり24時間取引です。これは、会社で働きながら株投資などをした事のある方でしたら、どれほどありがたいか実感できるでしょう。

もし夜の取引ができなければ、会社の上司に睨まれながら仕事中に為替のチェックをしてしまうことになるでしょう。

FX は24時間開いていますので、例えば夜10時に帰宅したとしても、そんな遅い時間でさえ、リアルタイムに好きな時間まで取引が可能です。

また、これは少し専門的なお話になりますが例えばベンチャー企業の株の売買などですと、流通している株の量が少ないですから、少しでも悪いニュースが出ると、売りが殺到して(しかも買い手がいらないため)あなたが売り注文を出しても、決済されない事があります。

(流動性リスク)FX の場合は、世界中の投資家が参加者ですから、市場の規模も世界一です。どんなに状況が急に動いていようと、「注文を出しているのに通らない」という事は起こりません。

安全という意味で考えると、これも大切な理由の一つですね。もちろん、これは通貨と株式の取引を比較しているので具体的な比較をしいものではないかも知れませんが、十分にメリットとして認識していいものでしょう。

(6)FXにおけるリスク

FXが投資である以上、リスクが全く無いと言うような事はありません。具体的にどう言ったリスクがあるのでしょうか？

値段が動くからこそ、利益も出ますし損も出ます。それ自体は悪い事ではありません。FXの場合に気をつけないければならないのが、「レバレッジが効いている」という点です。

例えば5万円を預けて100万円分の取引が出来るようになった場合。1ドル100円として、1万ドルを買ったとします。そうすると、ドルが110円から109円になった(1円動いた)だけで、あなたの資産は1万円減る事になるんですね。

レバレッジをかける事で少ない元手で始められる反面、値動きの影響も大きくなってしまいます。株の投資では1円動いたくらいでは、利益にも損にもなりませんがFXでは1円動くと、それだけで利益も出ますし、損になる事もあります。

株投資の感覚とはずいぶん違ってきますので、これは「小さな値動きをちゃんと見る」という癖をつけておきたいポイントです。また流動性リスクが少ないとはいえゼロではないという認識はしておくべきです。

とくにこれはマイナーな通貨で取引している場合は注意が必要です。テロや事故・事件の影響で大きく市場が変化してしまう事は十分に考えておきましょう。

(7)FXにおけるリスクその2

FX をする上でもっとも恐ろしいリスクはインターネット回線が使えなくなる事でしょう。

サーバーやインターネットサービスプロバイダのメンテナンス・トラブルなどもそうですが、自分のミスでパソコンや取引端末が使えなくなるのが一番痛いでしょう。

取引ができない間に為替が動いて大幅な損失がでる、すこし大げさに言いましたが可能性があるのは間違いありません。少なくとも取引をしたいタイミングから遅れてしまうという可能性はあります。

こればかりはある程度覚悟をしておくしかないでしょうか。また、取引をしている証券会社が倒産してしまうというのもリスクですね。2005年の法改正のおかげで、危ない業者はかなり一掃されましたが、それでもゼロではありません。

なるべくなら大手で安定した、歴史の長い会社で口座を開いておきたいところですね。一部のシステムリスク以外は、どれも普段から少し注意するだけでかなり避けられる事です。

こういったリスクがある事をふまえた上で行動するのが理想です。日々、対策を打っておきましょう。取引通貨を選ぶ事も証券会社を選ぶ事も戦略の一つです、場合によっては取引口座を変える事なども十分に考えておきましょう。

(8)スワップポイントとは

スワップポイントとは、取引を行った際の二つの通貨の間の「金利の差」です。例えば1ドルを100で、1万ドル分を買ったとしましょう。その買いポジションを翌営業日まで持ち越した場合。買ったドルには、(ドルを保有している訳ですから)その分の金利収入が入ります。

そして逆に、円については、1万ドル分相当の100万円を、証券会社から借りている(実際に100万円を入金している訳ではないですから、「借りている」という状態になります)ため、その分の金利を支払う必要があります。

その時々通貨の金利にもよりますが、例えばドルが金利4%とすると、日本の金利は今の段階では、非常に低いですから、金利に差が出ます。

高い方のドルを持っていますから、ドルの金利と日本円の金利との差を、毎日受け取る事が出来る。これがスワップポイントです。簡単に言うと金利の高い方の通貨を持っている場合、その金利の差額を毎日受け取る事が出来るという仕組みです。

もちろんですが、逆の場合もあります。例えば、ドルの売りポジションを持っている場合、金利の高い方のドルを売って(借りて)、金利の低い円を持っているので、金利の差額を毎日支払う事になります。

この差額ですが、金額としては金利の高いと言われている英国のポンドを持っている場合でスワップポイントでの受け取りは、おおよそ1日あたり200円前後(2007年2月現在)となります。

(9)スワップポイントの注意

スワップポイントでも損失が生まれる可能性についてはすでに説明しました。では具体的にほかに注意することなどはあるのでしょうか？

スワップポイントは、二つの通貨の金利の差を利用するものです。つまり金利そのものが変わってしまうと、スワップポイントの収入も変わってきます。

今の円は金利が低いですが、バブルの時期であれば、他の国より遥かに高い金利が付いていた時代もありました。金利というのは、長い目で見てみると、かなり変わっていくものなのです。

つまり、今はドルと円でスワップポイント収入があるからと言って、これが永遠に続く訳ではありません。そして、もうひとつ注意する点があります、価格変動リスクです。

例えばドルを買って、毎日スワップポイントを受け取っていたとしましょう。仮にスワップの収入が1日100円だったとすると、年間3万円を超える収入になりますよね。

しかし、これは単に通貨を持っていただけの場合です。通貨のレートは毎日変わります。例えばあなたが1ドルを100円で買って持っていたとすると、急な円高になって1ドルが90円になってしまったら、もし1万ドルを持っていたとすると、10万円の損が出てしまいます。

スワップにより3万円の収入があるけれども、価格変動で10万円の損が出るというような事態になってしまうのですね。(普通の人には10万の損失、と言うより円高になる前に対処すると思いますが…。)

これらは確かにリスクではありますが、よく注意して今の金利や価格をちゃんと見ていれば、大損するような事はないでしょう。

つまり、スワップポイントを期待して放置しているのではなく、しっかりと為替や金利などを注意しておくことが大切なのです。

